

伊勢のお白石持



9月28日 月読宮お白石持行事

月読宮「お白石持行事」のようす

月読宮のお白石持行事が行われました。
式年遷宮に伴い現在、順次進められている神宮の別宮・攝社・末社・所管社、全125社の御遷宮。9月28日には四郷奉獻団による月読宮のお白石持が行われました。

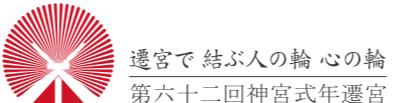
秋晴れの空の下、お白石を載せた木ぞりには、朝熊町、宇田町、中村町、楠部町、鹿海町と各奉獻団のぼりが仲良く飾られ、可愛い子ども木遣りの元気な唄を先頭に行いました。そして、月読宮到着後は、鳥居前でそれをお白石を手にして参道へ。真新しいお宮の前に奉献しました。

その後、10月6日の月読宮御遷御は、台風18号が当日未明に接近

倭姫宮は5団の奉獻

そして次に控えているのは倭姫宮の御遷宮。別宮のお白石奉獻にあたるのは、それぞれのお宮に所縁のある奉獻団です。倭姫宮は、内宮領(フリ曳)全団が、地区別に分かれ、4団(4基)で奉獻を実施。加えて、外宮領の団から、倭姫とは由縁が深い倭町が、唯一、奉曳車を使用して倭姫宮へのお白石奉獻を実施します。11月最終日の日曜、全5台の奉曳が、晚秋の御幸道路を、エンヤのかけ声で賑やかに進行します。沿道でのご声援もよろしくお願い致します。

■お白石持行事は500年以上継承されている伊勢の民俗行事です。実施へのご理解ご協力を願い申し上げます。



編集発行・御遷宮対策委員会
伊勢市岩剣1-7-17(伊勢商工会議所内)
電話0596-25-5215

10月3日 宇治橋新鳥居竣工・奉祝行事開催 報告

宇治橋新鳥居竣工式

して、三重県桑名市桑名宿の「七里の渡し」に、東詰(内側)の鳥居は鈴鹿峠の麓にある関宿の「関の東の追分」の鳥居として建てられ、それぞれ次の御遷宮まで、神宮遙拝の鳥居として使用されます。

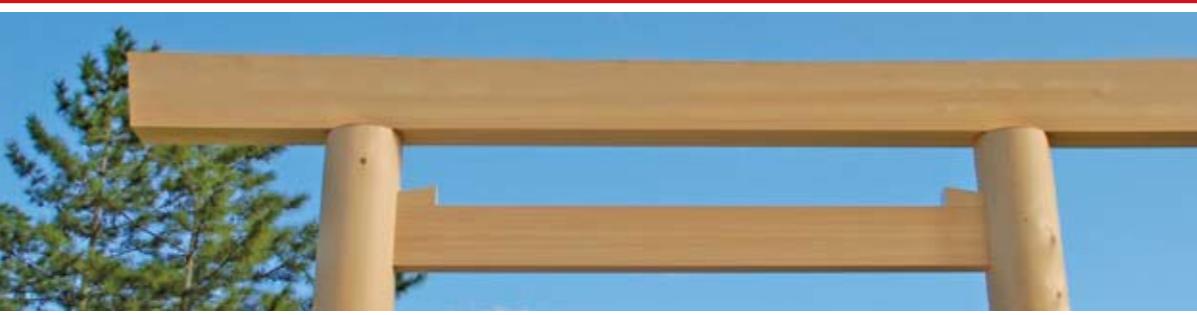
見どころ。たくさん市民や観光客を魅了しました。

国民総参宮

そして、夜には、竣工をお祝いする気持ちを参拝をもって現そと、国民総参宮を行いました。般参拝時間を終えた18時より特別な許可をいただき、隊列を組んでの夜間参拝を実施。

戸畠祇園大山笠 御遷宮奉祝

心配された雨もなく、気持ちのよい秋の夕暮れ、整列会場には、4000人を超える市民が続々と集合。北九州より奉祝のためにきていただいた神洲太鼓の奉納演奏がオーブニングを飾り、式典の後、ボランティアスタッフが掲げる御遷宮ののぼりや、提灯を道案内に、新しい鳥居をくぐって、静かと夜の神域へと進みました。



10月3日、伊勢神宮では御遷宮に伴い新調された宇治橋の鳥居の竣工式が行われました。鳥居には遷宮後に解体された内宮と外宮の旧正殿の「棟持柱」が用材として使われることが慣例となっていました。午前中の無事完成した鳥居のくぐり始めを行い、式典が無事終了。輝くような真新しいヒノキの鳥居をくぐつての参拝は慶びもひとしおです。

新しい鳥居が建て替えられた後、これまでの西詰(外側)の鳥居は、お化粧直しを



また、当時は市内の公道を会場に、福岡県北九州市より来勢した2台の「戸畠祇園大山笠」の奉納披露がありました。大轍(のぼり)や水引き、切り幕などで豪華に飾られた大山笠を、外宮前、そして内宮前では夜の提灯山笠をご披露いただきました。

309個の提灯で彩られる高さ10メートルの提灯の灯りを揺らしながらおはらい町を練り歩く様子は、最大の

感謝と慶びをこめて、「萌(もえ)」の文字が記された鳥居竣工奉祝参拝の記念木札を配布しました。

